

IVR と SMS を利用したスマートフォン調査

Mobile Surveys Using IVR and SMS

前納 玲^① 松本 正生^②
Ryo Maenou Masao Matsumoto

1. はじめに
2. 調査の概要
3. 回収状況
4. 回答者の属性
5. 回答者の政治意識
6. おわりに

〈要旨〉

(株) グリーン・シップは、「寄付型ショートメール調査」と名付けた独自方式の調査を 2018 年 4 月から毎月実施している。この調査は対象者のスマートフォンに架電し、調査への協力意思を確認した後、ショートメール (SMS) を送信する。架電対象をスマートフォンに限定しているのは、若年層にとって最も身近な通信デバイスだからである。また、現行の世論調査や情勢調査に代わる新方式を開発するための実験的な試みでもある。

Since April 2018, Green Ship Co., Ltd., has performed a monthly survey using an original method referred to as "donation-type SMS survey". To conduct the survey, the company calls potential respondents on their smartphones to confirm their participation and then sends the survey via SMS. The company only calls participants with smartphones in order to target the younger demographic. The survey is also an experiment in developing a new method to replace current opinion polls and attitude surveys.

〈調査概要〉

調査名	寄付型ショートメール調査
調査目的	・若年層の政治意識に関する調査 ・現行の世論調査や情勢調査に代わる新しい調査手法の開発
調査対象	日本国内でスマートフォンを使用する10代，20代，…，70歳以上の男女
標本サイズ	約5万件の電話番号
抽出方法	RDD (Random Digit Dialing) 法
調査方法	IVR (Interactive Voice Response) とSMS (Short Message Service) で対象者に接触し、Webアンケート用サイトを介して回答を収集する混合モード調査
調査時期	2018年4月～12月 ※詳細な日時については図表5を参照
調査設問数	政治意識に関する設問5 + 属性設問7 + 寄付先の選択設問1 の計13問 ※自民党総裁選直前の調査では、例外的に政治意識の設問を6に増やした ※西日本豪雨災害直後の調査では、例外的に寄付先の設問を設けず豪雨災害の義援金に全額寄付した
回収数	1500～2000件を目標に回収
調査インセンティブ	寄付先の選択設問で提示された複数の慈善団体から回答者が1カ所を選ぶと、株式会社グリーン・シップが代わりに100円を寄付する。回答者は寄付をせず100円相当のデジタルギフト(文字・数字列やURLで発行される金券や商品券)を受取ることもできる。

1. はじめに

株式会社グリーン・シップは、埼玉大学社会調査研究センターの監修のもと、有権者（とりわけ若年層）の政治意識を探るため「寄付型ショートメール調査」と名付けた独自方式の調査を2018年4月から毎月実施し、内閣支持率等の動向を観測している。この調査は対象者のスマートフォンに架電し、IVR、すなわち自動音声応答通話によって調査への協力意思を確認した後、回答用WebサイトのURLを貼り付けたショートメール(SMS)を送信する。架電対象をスマートフォンに限定しているのは、若年層にとって最も身近な通信デバイスだからである。また、現行の世論調査や情勢調査に代わる新方式を開発するための実験的な試みでもある。

本稿では、寄付型ショートメール調査(以降、本調査)の手法について説明した後、これまで実施した調査から得られた結果を紹介する。

2. 調査の手法

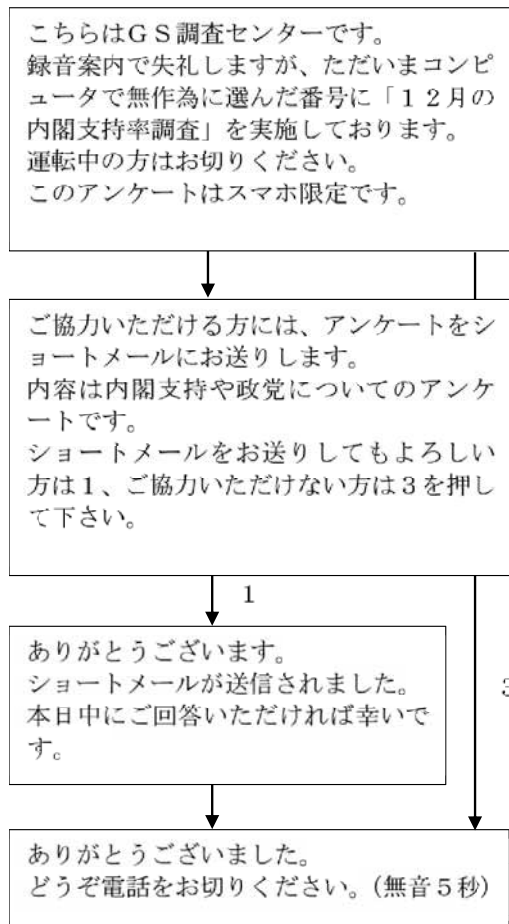
本調査ではまず、RDD法で作成した携帯端末の番号⁽¹⁾に社内のOutboundサーバから自動架電を行う。対象者が電話に出るとサーバ上でIVRが起動し、あらかじめ設定されたトークスクリプトに従って、調査への回答を要請する自動音声案内を開始する(図表1参照)。回答に承諾した対象者が案内に従い特定のプッシュボタンを押すと即座に社外のSMS送信キャリアにAPI(Application Programming Interface)を通じて対象者の指定情報が送られ、情報を受け取ったキャリアは指定された対象者の電話番号にSMSを送信する⁽²⁾。

SMSを受信した対象者は、メールに記載されているURLをタップ(タッチ)する(図表2参照)。ただしメール文中に書かれているのは短縮URLであり、タップすると別のURLに自動転送される。自動転送されるURLの例として、2018年12月調査で使用したものを以下に挙げておく。

https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=rhp-laqcrj-705d43c48a856046d27ac65237884985&code=○○○○

※○の部分は対象者ごとに固有の ID

図表 1 音声案内のトークスクリプト (12月調査)



図表 2 対象者に配信した SMS の文面



(例)

転送先は社外の Web アンケートサイトで、図表 3 の設問ページの公開を委託した。設問ページの構成は、原則として、内閣や政党の支持率、時事問題など政治意識に関する設問が 5 問、性別や年代など属性に関する設問が 7 問、寄付先を選択する設問が 1 問となっている。このうち、内閣支持率、性別、年代、寄付先の設問を必須の回答項目とし、これらに回答しなければアンケートを終了できないように制御した。

なお、性別設問の選択肢に関して、2018 年 5 月調査から LGBT の回答者を考慮して「答えない」という選択肢を追加した。

また、寄付先の設問の選択肢には、社会貢献活動を行っている団体を設定した。回答者が選んだ団体には、1 人につき 100 円を株式会社グリーン・シップが代わりに寄付した。回答者が寄付を希望しなかった場合は 100 円相当のデジタルギフトを約一週間後に SMS にて送信した。

以上が調査の基本的な流れであるが、本調査では社内の IVR システムと、社外の SMS や Web アンケートシステムが同時連携して動作するため、調査に先立って図表 4 のようなネットワークシステムを構築した。

図表 4 の IVR システムには、上で説明した機能を担うインフラに加え、Outbound サーバからの架電時に不出であった対象者が折り返し電話をかけてきた時に受電するための Inbound サーバと、受/架電時に必要な各種データ（対象者の ID や電話番号など）や受/架電結果の情報（ログ）を格納するための Web/DB サーバが追加されている。

調査を実施した期間についてであるが、Outbound サーバから架電するフェーズでは対象者に拘束時間が発生するのに対し、Web アンケートサイトで回答するフェーズでは拘束時間は発生せず、対象者はいつ答えてもかまわないことから別々の運用となった。具体的には、Outbound サーバからの架電は概ね午前 10 時から夕方 (17 ~ 19 時) まで 2 日間にわたって実施し、Web アンケートサイトでの回答受付は、開始時間は架電と同時であるが終了は 3 日目まで中断することなく継続した。各月調査の実施日時に関する詳細については図表 5 を参照されたい。

図表3 回答用Webサイトの画面(例)

13:00 reg31.smp.ne.jp

こちらはGS調査センターです。
 この度は、内閣支持率調査にご協力いただきましてありがとうございます。
 最後まで回答いただければご希望の団体に株式会社グリーン・シップより100円の寄付を致します。
 この調査は株式会社グリーン・シップが実施しております。
 回答結果は、株式会社グリーン・シップのホームページで公開します。

ご回答の内容や個人情報は厳重に守られております。
 お問い合わせ、ご質問につきましては、こちらからお願います。

必要事項をご入力の上、送信ボタンを押してください。

質問1 あなたは安倍内閣を支持しますか。*

支持する

支持しない

わからない

質問2 あなたには支持する政党がありますか。

ある(質問2-2に進んでください)

ない(質問2-3に進んでください)

わからない(質問3に進んでください)

質問2-2 「ある」と回答した人に、それは何党ですか。

自民党

立憲民主党

国民民主党

公明党

共産党

日本維新の会

自由党

希望の党

社民党

その他の政治団体

質問2-3 「ない」と回答した人に、あえて選ぶとすれば何党ですか。

自民党

立憲民主党

国民民主党

公明党

共産党

日本維新の会

自由党

希望の党

社民党

その他の政治団体

特に支持する政党はない

わからない

質問3 アベノミクスの経済効果を実感していますか。

実感している

どちらかといえば実感している

どちらかといえば実感していない

実感していない

わからない

質問4 憲法改正は必要だと思いますか。

改正する必要があると思う

どちらともいえない

改正する必要はないと思う

わからない

質問5 今の日本社会を、以下の5つの階層に分けると、あなたは、どれに入ると思われますか。

- 上
- 中の上
- 中の下
- 下
- わからない

あなたのお住いの郵便番号をお答えください。

 -

性別をお答えください。*

- 男性
- 女性
- 答えない

年代をお答えください。*

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70歳以上

あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を選んでください。

- 中学校（旧制高等小含む）
- 高校（旧制中学含む）
- 高専・短大・専修学校
- 大学（旧制高専含む）
- 大学院（修士・博士）

あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「ない」を）

- ある
- ない

あなたのお宅では、新聞を購読していますか。

- 宅配新聞を購読している
- 販売店、コンビニで購入している
- 電子版を購読している
- 購読していない

「購読、購入している方」は新聞名をご記入ください。（複数の場合は主に読んでいるものを）

この調査は、寄付とセットになっています。回答された方、お一人につき謝礼分の100円を株式会社グリーン・シップから社会貢献活動をしている団体に寄付させていただきます。あなたが希望する寄付先を、次の中から選んでください。*

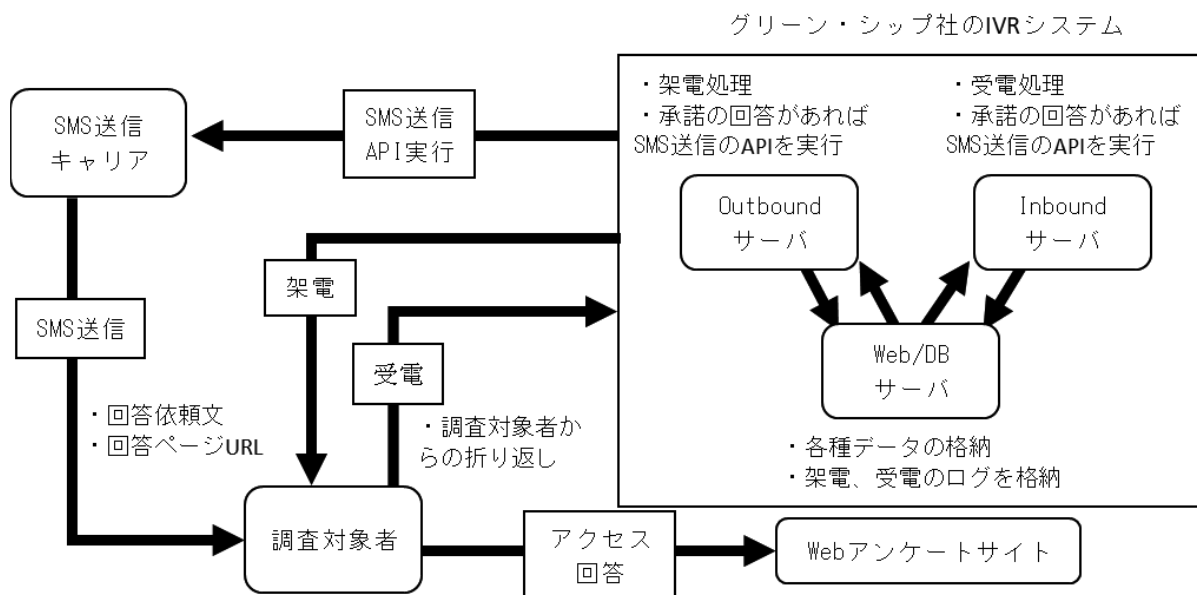
※寄付明細は株式会社グリーン・シップのホームページにてご報告いたします。
※寄付先の詳細については下記にてご確認ください。
ピンクリボン運動 日本赤十字社 IPS細胞研究基金 日本聴導犬協会 日本盲導犬協会 日本ユニセフ協会 あしなが育英会

- 認定 NPO 法人 J.POSH 日本乳がんピンクリボン運動
- 日本赤十字社（災害救護等赤十字社のネットワークを生かして活動する組織）
- 京都大学 IPS細胞研究基金
- 日本聴導犬協会（聴導犬に対して支援を行う公益財団法人）
- 日本盲導犬協会（盲導犬に対して支援を行う公益財団法人）
- 日本ユニセフ協会（世界中の子供の命と健康を守る国連機関）
- あしなが育英会（両親を亡くした子供等を救う民間団体）
- 寄付はしない（100円相当のデジタルギフト）

※・付与されるプレゼントは契約を強制するものではありません。・キャンペーン及びプレゼントは、予告なく中止/変更となることがございます。あらかじめご了承ください。・商品によっては、一部取扱いのない場合がございます。予めご了承ください。・都合により商品の内容が一部変更になる場合がございます。・プレゼントは、プレゼント詳細に記載された有効期限までに商品と交換してください。有効期限を過ぎた場合は無効となります。

※回答後1週間程度でショートメールにデジタルギフトのURLをお送りします。

図表4 調査ネットワークシステムの概要



図表5 調査日時一覧

実施日	Outbound架電時間	Web回答の収集時間
4月21日（土）	10時～17時06分	21日10時～23日09時30分
4月22日（日）	10時～17時05分	
5月26日（土）	10時～17時46分	26日10時～28日15時00分
5月27日（日）	10時～17時52分	
6月23日（土）	10時～18時38分	23日10時～25日10時46分
6月24日（日）	10時～18時43分	
7月28日（土）	10時～18時59分	28日10時～30日09時21分
7月29日（日）	10時～18時59分	
8月25日（土）	10時～17時42分	25日10時～27日14時07分
8月26日（日）	10時～17時40分	
9月29日（土）	10時～17時40分	29日10時～10月1日14時32分
9月30日（日）	10時～17時41分	
10月20日（土）	10時～17時46分	20日10時～22日17時08分
10月21日（日）	10時～17時43分	
11月17日（土）	10時～17時39分	17日10時～19日13時44分
11月18日（日）	10時～17時38分	
12月15日（土）	10時～18時59分	15日10時～17日14時25分
12月16日（日）	10時～19時00分	

3. 回収状況

本調査はスマートフォンに架電して IVR で調査に「協力する」「しない」の回答を求めた後、「協力する」と答えた対象者に改めて Web アンケートでの回答を求めため、電話調査と Web アンケートを順次実施しているような方式である。したがって、回収状況を提示する指標も以下の 2 つが必要となる。

$$\text{反応率} = \frac{\text{反応数}}{\text{接続件数}}$$

$$\text{回答率} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{SMS 配信件数}}$$

ここで、「接続件数」とは対象のスマートフォンに接続できた数を表す。そのため、留守番電話サービスにつながった場合など、必ずしも対象者が通話に出なかったケースも含まれる。「反応数」は接続できたもののうち、調査協力の確認に対して承諾・拒否の回答が得られた数を表す。したがって、「反応率」はスマートフォンへの架電のパフォーマンスを表す指標と言える。

次に、「SMS 配信件数」は調査協力に承諾を回答したもののうち SMS の配信が成功した数を表す。承諾を回答すると即座に SMS が送信されるが、SMS の特性上、端末や通信インフラの不具合、電波状況、対象者による契約や受信の設定等によって必ずしも配信が成功（対象端末が受信）するとは限らない。よって承諾の回答数と配信件数は通常一致しない。「有効回答数」は Web アンケートで必須設問（内閣支持率、性別、年代、寄付先）に回答し有効となった件数である。以上のことから、「回答率」は Web アンケートのパフォーマンスを表す指標と言える。

反応率と回答率について、各月の調査で計測した結果を図表 6 に示す。

図表 6 回収状況の指標

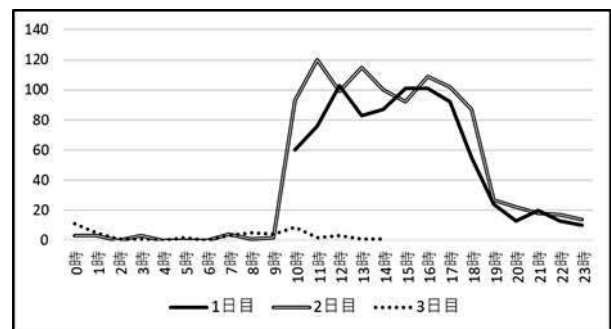
	反応率	回答率（有効回答数）
2018年4月	10.5%	53.7% (2027)
2018年5月	10.0%	57.0% (2006)
2018年6月	10.2%	56.3% (2002)
2018年7月	8.9%	61.9% (2079)
2018年8月	9.7%	57.9% (1918)
2018年9月	10.6%	58.6% (2109)
2018年10月	9.1%	57.5% (1723)
2018年11月	9.0%	58.8% (1661)
2018年12月	10.0%	57.0% (1917)

図表 6 から、反応率は通常の携帯電話 RDD と比べ著しく劣るというほどではなく、回答率も郵送調査など他モードの調査手法と比較してさほど遜色のないものであることがわかる。

次に、時間帯によって回収傾向に違いがあるかを検証する。図表 7 に、12 月調査の時間別回収数の推移を示す。

図表 7 をみると、特にピークタイムと呼べるほど回答が集中している時間帯はなく、スマートフォンに架電している時間帯でコンスタントに回収できていることがわかる。他の月の調査結果もほとんど同じであった。したがって、現在は慎重を期して Web アンケートの回収を架電終了の翌日まで延長する運用となっているが、架電終了と同時に締め切っても回収状況にほぼ影響がないことがわかる。

図表 7 Web 回答数の時間推移（12 月調査）



4. 回答者の属性

次に、有効回答データを対象とし、回答者の属性について検討する。本調査の回答者の性別を図表 8 にまとめて示す。

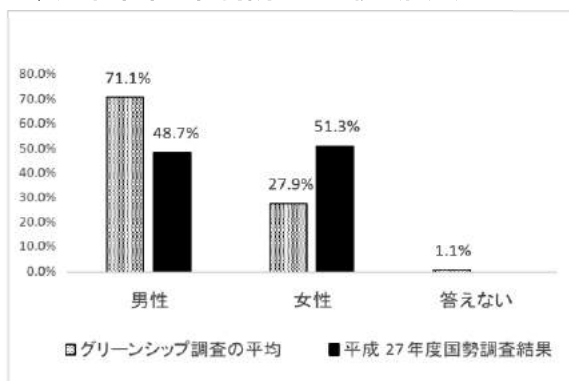
図表 8 回答者属性（性別）

	男性	女性	答えない	サンプルサイズ
4月	70.4%	29.6%	0.0%	2027
5月	72.0%	26.7%	1.3%	2006
6月	71.7%	27.0%	1.3%	2002
7月	67.7%	31.2%	1.1%	2079
8月	71.4%	27.4%	1.3%	1918
9月	70.3%	28.5%	1.2%	2109
10月	70.9%	27.9%	1.2%	1723
11月	72.1%	26.6%	1.3%	1661
12月	73.5%	25.7%	0.8%	1917
調査平均	71.1%	27.9%	1.1%	

表中の「調査平均」は、各月の調査ごとのサンプルサイズによって加重平均をとった結果を表して

いる。調査平均と平成 27 年度の国勢調査結果を比較すると図表 9 のようになる。

図表 9 回答者と国勢調査の比較（性別）



図表 9 を見ると、回答者の性別に関しては、国民全体の分布よりも男性に偏っていることがわかる。

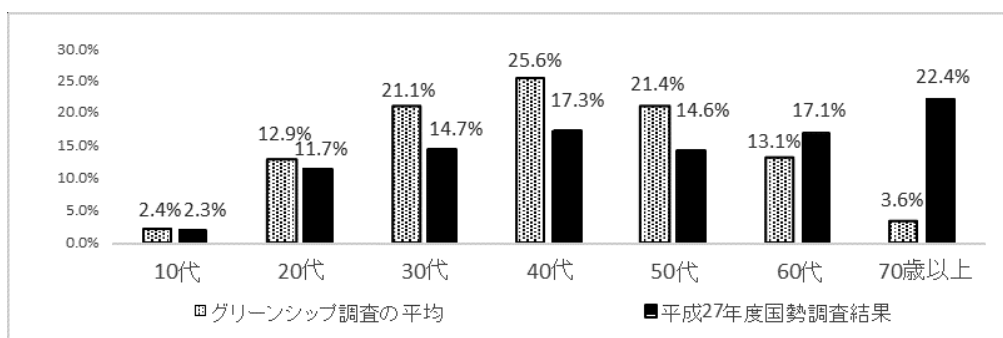
次に、回答者の年代に関して各月の構成比を図表 10 に、国勢調査結果との比較を図表 11 に示す。

図表 10, 11 から、回答者の年代に関しても、国民全体の分布より若年層に偏っていることがわかる。ただし、この偏りについては、本調査の目的の 1 つが「若年層の政治意識を探る」であったことを考えると、企図した通りの結果と言えるだろう。

図表 10 回答者属性（年代）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	サンプルサイズ
4月	2.3%	13.1%	20.6%	24.5%	22.3%	14.3%	2.9%	2027
5月	2.5%	13.0%	22.1%	23.6%	21.3%	14.0%	3.4%	2006
6月	2.2%	12.9%	21.1%	25.9%	20.9%	12.9%	4.0%	2002
7月	2.2%	12.8%	19.7%	24.3%	22.1%	13.4%	5.5%	2079
8月	2.7%	13.1%	20.3%	26.1%	21.8%	12.8%	3.2%	1918
9月	1.9%	13.2%	21.1%	26.4%	21.5%	12.7%	3.1%	2109
10月	2.4%	12.8%	22.2%	25.7%	20.7%	13.2%	3.0%	1723
11月	3.0%	11.5%	20.9%	27.8%	20.8%	12.9%	3.1%	1661
12月	2.5%	13.4%	21.6%	26.7%	20.4%	11.8%	3.6%	1917
調査平均	2.4%	12.9%	21.1%	25.6%	21.4%	13.1%	3.6%	

図表 11 回答者と国勢調査の比較（年代）



5. 回答者の政治意識

前章で、意図した通り若年層を中心としたサンプルが採取できていることが確認できた。ここでは政治意識について考察する。ただし、全ての設問ではなく、政治意識を表す最も代表的な設問として内閣支持率の設問に注目する。なお、属性質問も含めた全設問の集計結果については、本稿末尾（参考情報）の図表 13 を参照されたい。

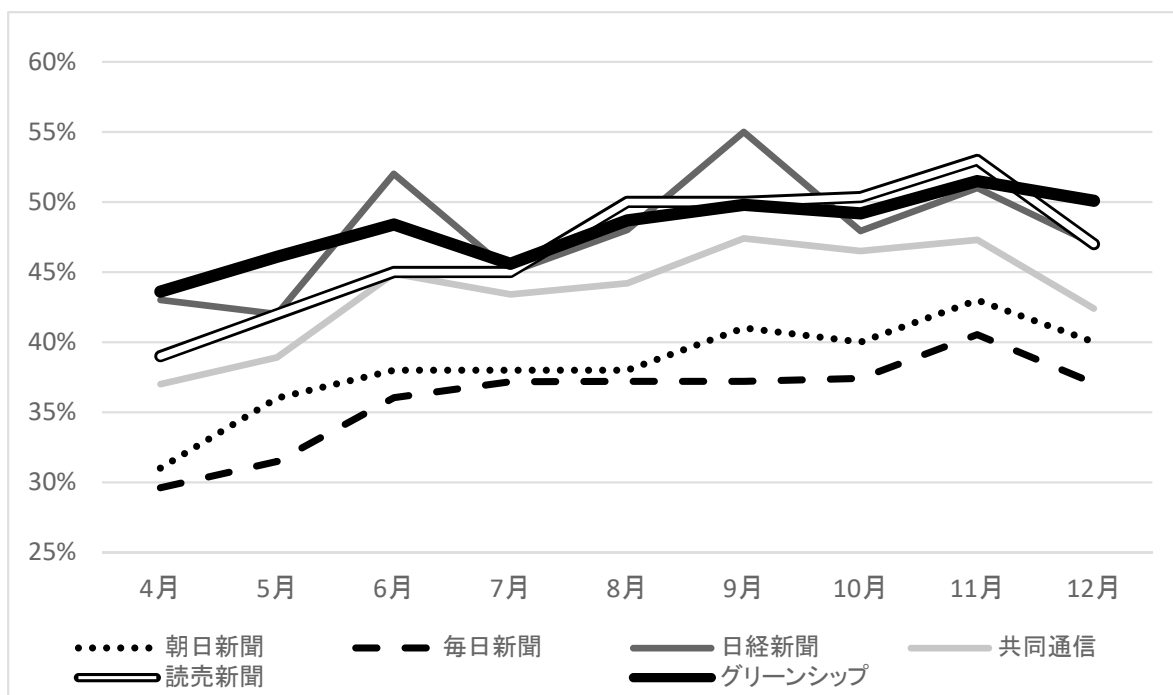
本調査の内閣支持率の月次変化を、新聞各社の支持率と比較すると図表 12 のようになった。

図表 12 で比較対象にした新聞各社の定例世論調査に関して、調査を実施していない月は前後の月の結果から線形補正した値を当てはめた。また、ひと月に 2 回以上調査を実施していた場合は、月内調査のサンプルサイズによる加重平均をとった。

図表 12 を見ると、新聞各社の内閣支持率は水準（率の高さ）こそ異なるもののトレンド（増減）に大きな違いはなく、一定幅のレンジの中を同じように動いている。本調査の結果もレンジの中に収まっており、水準が高い新聞社に近いことがわかる。

本調査の内閣支持率が比較的高い水準となっているのは、サンプルが若年層中心であることの効果が示唆される。本稿末尾（参考情報）の図表 14 に

図表 12 各社の内閣支持率との比較



性年代別の内閣支持率を一括して掲載したが、これを見ると、特に男性20代の内閣支持率が安定的に高く、次いで30代や10代が高いことがわかる⁽³⁾。

用しない現行の携帯電話RDD調査と同様に、接触地点を事前にコントロールする手段が未解決なため、現時点では困難と思われる。

6. おわりに

RDD法により特定した確率標本に対して、ショートメール形式の質問票を送付し、回答を記入(入力)してもらおうという本調査の方式は、自記式のカテゴリに相当するであろう。

試行実験の結果としては、回答者構成は男性に偏るものの、レスポンス(回収効率)自体はさほど悪いものではない。回答の傾向、すなわち内閣支持率も、新聞各社の調査の中で比較的高水準なグループに近いことが明らかになった。本調査が若年層をターゲットとした調査であることを考えると、内閣支持率が比較的高いことも想定の範囲内と言える。

女性や高齢者のサンプルも回収できるよう手法を改善するのは今後の課題であるが、現行世論調査の代替手法としては、十分検討に値すると言えよう。本調査に比べれば女性や高齢者の回答が得られやすい従来型の固定電話調査と組み合わせることで、お互いの欠損をカバーすることが可能となるかもしれない。

ただし、情勢調査での利用については、IVRを使

(①株式会社グリーン・シップ)
(②埼玉大学社会調査研究センター教授)

注

- (1) 作成した番号は冒頭090と080のみ。
- (2) SMSは携帯電話番号を宛先として電子メールを送信することができる
- (3) ただし、男性は10代はサンプルサイズが小さいため月によるばらつきが大きい。

(参考情報)

図表 13 全調査項目の回答比率


設問	選択肢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
質問1 内閣支持率	支持する	43.6	46.1	48.4	45.6	48.7	49.8	49.2	51.5	50.1
	支持しない	49.4	46.5	44.5	42.6	42.2	41.0	41.8	39.1	41.2
	わからない	7.0	7.4	7.1	11.8	9.1	9.2	8.9	9.3	8.7
質問2 支持政党有無	ある	51.7	52.0	53.5	49.2	51.8	49.9	51.9	48.4	51.5
	ない	42.6	41.6	41.6	43.1	41.2	43.3	42.1	45.0	41.8
	わからない	5.7	6.2	4.6	7.5	6.8	6.7	5.7	6.5	6.3
	無回答		0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3
質問2-2 支持政党(質問2ある)	自民党	65.4	63.2	63.6	63.6	69.7	68.2	67.5	66.8	65.0
	立憲民主党	16.9	16.1	14.8	17.0	12.3	11.7	13.1	13.4	14.3
	民進党	1.8								
	国民民主党		0.8	1.0	0.5	0.9	1.5	1.0	1.1	1.6
	公明党	5.4	7.2	4.3	6.4	5.5	6.0	4.7	6.5	5.2
	共産党	4.9	4.2	5.9	4.4	4.1	3.9	5.0	3.7	4.7
	日本維新の会	0.5	5.2	6.4	5.6	4.1	5.7	5.9	4.7	6.3
	自由党	0.6	0.7	0.6	1.1	0.7	0.3	0.6	1.1	1.1
	希望の党	1.3	1.0	1.3	0.4	0.1	0.7	0.4	0.5	0.4
	社民党	3.2	1.0	0.7	0.8	1.2	1.0	0.7	1.1	0.4
	その他の政治団体	—	0.7	1.3	0.3	1.3	0.9	1.1	1.0	1.1
	無回答		0.1	0.1	—	—	0.2	—	—	—
質問2-3 支持政党(質問2ない)	自民党	27.9	29.9	29.0	31.3	32.1	35.0	32.9	37.3	31.8
	立憲民主党	24.9	22.6	22.6	20.0	19.5	20.8	18.2	18.7	19.6
	民進党	2.7								
	国民民主党		1.9	1.3	1.4	1.4	1.3	1.8	1.7	2.1
	公明党	1.7	2.0	1.7	0.9	1.3	1.1	1.2	0.8	1.1
	共産党	3.1	4.8	4.6	4.1	4.2	2.8	4.0	4.1	4.2
	日本維新の会	7.4	6.8	7.6	6.8	7.8	6.0	7.0	6.8	5.6
	自由党	0.6	0.4	0.8	0.1	1.4	0.4	1.1	0.7	1.2
	希望の党	2.5	1.6	2.2	1.8	0.9	0.8	1.0	0.9	0.6
	社民党	0.3	0.8	1.1	1.0	0.8	0.3	0.8	0.5	0.7
	その他の政治団体	0.7	1.0	1.0	0.6	0.9	1.1	0.8	0.9	1.1
	支持政党なし	23.0	22.4	21.8	25.0	22.5	24.5	25.2	21.2	28.1
	わからない	5.1	5.3	5.6	6.7	7.0	4.6	5.8	6.0	3.6
無回答		0.5	0.8	0.3	0.4	1.1	0.1	0.1	0.1	
質問3 アベノミクスの経済効果	実感している	10.6	11.1	9.3	9.3	9.9	10.1	9.9	8.2	9.2
	どちらかといえば実感している	22.8	22.7	23.8	21.5	23.6	22.0	23.6	24.9	24.8
	どちらかといえば実感していない	19.4	20.0	20.4	21.1	18.0	20.2	20.5	21.4	21.5
	実感していない	42.2	40.7	41.6	42.0	42.3	42.4	41.1	40.6	39.6
	わからない	5.0	5.5	4.5	5.9	6.0	5.2	4.8	4.9	4.7
	無回答		—	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	—	0.2
質問4 憲法改正	改正する必要があると思う	49.5	48.8	50.0	47.8	48.3	46.8	48.1	48.8	50.2
	どちらともいえない	20.6	20.5	19.7	21.8	21.1	21.8	19.8	20.8	18.5
	改正する必要はないと思う	27.8	27.9	27.8	27.4	27.1	27.8	29.3	27.5	28.9
	わからない	2.1	2.6	2.1	2.9	3.4	3.4	2.6	2.7	2.2
	無回答		0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2
質問5 階層	上	4.3	3.2	3.2	3.3	4.3	3.8	3.7	3.7	4.3
	中の上	32.1	33.5	34.5	32.0	34.7	33.0	32.0	33.7	34.6
	中の下	45.9	42.0	43.3	44.0	43.2	43.2	44.9	42.1	42.6
	下	15.3	17.0	16.1	17.6	14.8	16.3	16.4	17.6	16.0
	わからない	2.4	4.1	2.7	3.0	2.9	3.4	2.8	2.8	2.5
	無回答		0.1	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	—	0.1


設問	選択肢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
性別	男性	70.4	72.0	71.7	67.7	71.4	70.3	70.9	72.1	73.5
	女性	29.6	26.7	27.0	31.2	27.4	28.5	27.9	26.6	25.7
	答えない		1.3	1.3	1.1	1.3	1.2	1.2	1.3	0.8
年代	10代	2.3	2.5	2.2	2.2	2.7	1.9	2.4	3.0	2.5
	20代	13.1	13.0	12.9	12.8	13.1	13.2	12.8	11.5	13.4
	30代	20.6	22.1	21.1	19.7	20.3	21.1	22.2	20.9	21.6
	40代	24.5	23.6	25.9	24.3	26.1	26.4	25.7	27.8	26.7
	50代	22.3	21.3	20.9	22.1	21.8	21.5	20.7	20.8	20.4
	60代	14.3	14.0	12.9	13.4	12.8	12.7	13.2	12.9	11.8
	70歳以上	2.9	3.4	4.0	5.5	3.2	3.1	3.0	3.1	3.6
最終学歴	中学校（旧制高等小含む）	1.9	1.7	2.0	1.7	2.3	2.6	2.6	2.2	2.1
	高校（旧制中学含む）	27.7	26.0	26.0	26.5	26.1	24.6	26.0	26.4	26.3
	高専・短大・専修学校	19.7	19.3	17.9	20.3	19.1	18.5	18.0	19.9	18.6
	大学（旧制高専含む）	44.3	45.3	46.8	44.5	43.3	47.2	43.2	44.9	45.1
	大学院（修士・博士）	6.4	7.1	6.8	6.3	8.6	6.7	9.3	5.9	7.5
	無回答		0.5	0.4	0.7	0.7	0.4	0.9	0.7	0.4
固定電話有無	ある	63.5	61.9	63.8	63.3	58.5	60.7	61.2	60.6	61.5
	ない	36.5	37.1	35.6	35.5	41.0	38.4	37.3	38.7	37.8
	無回答		1.0	0.6	1.2	0.5	0.9	1.5	0.7	0.8
新聞	宅配新聞を購読している	47.8	48.2	47.8	49.1	44.1	46.9	46.7	45.4	45.9
	駅売店、コンビニで購入している	2.3	2.1	1.8	2.3	1.6	1.3	1.4	2.0	2.3
	電子版を購読している	4.6	5.3	5.0	5.1	6.2	6.0	4.4	4.7	5.6
	購読していない	45.3	43.7	45.0	42.6	47.7	45.4	47.1	47.5	45.7
	無回答		0.6	0.4	0.9	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5
寄付	ピンクリボン運動	9.5	10.9	7.6		8.1	8.2	8.6	8.0	8.3
	日本赤十字社			17.8		19.2	19.1	18.5	15.7	16.4
	iPS細胞研究基金	21.1	24.4	21.5		22.1	21.1	22.2	23.2	21.3
	日本聴導犬協会		15.8	3.1		2.8	3.3	3.4	3.8	3.3
	日本盲導犬協会	18.3		8.9		9.5	8.8	9.1	8.4	9.9
	日本ユニセフ協会			11.3		11.1	10.5	11.4	11.7	9.9
	あしなが育英会	37.7	36.1	18.8		18.9	19.7	18.5	17.8	20.7
	寄付はしない	13.4	12.8	10.9		8.3	9.4	8.4	11.5	10.1
	西日本豪雨災害				100.0					
サンプルサイズ		2027	2006	2002	2079	1918	2109	1723	1661	1917

※サンプルサイズを除き、数字は全て%

※0.05%未満は0.0と表記

※—は回答なし。

※は当該月の質問になかった選択肢、または許可されなかった回答パターン。

※4月の調査では、全ての質問に回答しなければ、終了できないようにWebアンケートサイトで制御をしていたため、無回答がになっている。

※支持政党の質問に関して、2018年5月7日に民進党が国民党(希望の党の合流推進派による暫定的な新党)を吸収し、国民民主党を結党したため、4月の調査では「国民民主党」の選択肢はなく、また、5月以降の調査では「民進党」の選択肢がない。

※寄付に関して、5月調査までは寄付先を4つまでとしていたが、6月の調査からは7つの団体を選べるようにした。

※7月の調査においては直近で西日本豪雨災害が発生したため、回答者一人につき100円を全額寄付する形をとり、Webアンケートページにも寄付先の質問は除外した。

図表 14 性年代別の内閣支持率

4月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	58.1	72.3	56.1	47.4	40.0	36.7	39.0	12.5	48.4	29.3	33.1	25.0	24.3	27.8
支持しない	29.0	20.2	35.1	48.0	55.9	61.4	58.5	62.5	36.6	56.4	56.5	69.6	67.6	72.2
わからない	12.9	7.5	8.8	4.7	4.1	1.9	2.4	25.0	15.1	14.3	10.4	5.4	8.1	0.0
サンプルサイズ	31	173	285	342	340	215	41	16	93	133	154	112	74	18

5月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	66.7	68.6	59.9	49.3	41.7	39.9	32.1	10.0	39.4	34.1	30.2	39.4	33.3	26.7
支持しない	23.1	27.0	32.6	44.2	54.5	58.2	64.2	70.0	36.6	47.4	58.9	56.9	59.1	73.3
わからない	10.3	4.3	7.6	6.5	3.8	1.9	3.8	20.0	23.9	18.5	10.9	3.7	7.6	0.0
サンプルサイズ	39	185	304	337	314	213	53	10	71	135	129	109	66	15

6月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	68.6	67.2	60.0	47.6	48.3	44.8	46.4	44.4	44.3	45.5	35.5	31.3	31.7	31.8
支持しない	25.7	25.3	33.1	47.8	49.0	52.1	51.8	22.2	42.9	35.8	51.8	58.0	58.7	68.2
わからない	5.7	7.5	6.9	4.6	2.6	3.1	1.8	33.3	12.9	18.7	12.8	10.7	9.5	0.0
サンプルサイズ	35	186	290	372	302	194	56	9	70	123	141	112	63	22

7月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	37.9	65.9	58.3	48.0	43.4	46.4	39.0	31.3	39.0	38.3	36.8	34.9	29.1	34.4
支持しない	48.3	20.5	32.6	41.2	50.5	50.5	57.3	37.5	33.8	38.3	40.0	53.7	60.8	53.1
わからない	13.8	13.5	9.1	10.8	6.1	3.1	3.7	31.3	27.3	23.4	23.2	11.4	10.1	12.5
サンプルサイズ	29	185	264	342	309	196	82	16	77	141	155	149	79	32

8月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	61.5	69.8	61.5	48.8	45.4	48.3	47.1	62.5	42.9	48.3	24.8	33.3	43.8	33.3
支持しない	30.8	21.5	29.2	43.6	51.3	50.6	52.9	25.0	40.3	30.0	52.6	53.5	53.1	66.7
わからない	7.7	8.7	9.2	7.7	3.3	1.1	0.0	12.5	16.9	21.7	22.6	13.2	3.1	0.0
サンプルサイズ	39	172	260	365	302	180	51	8	77	120	133	114	64	9

9月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	59.3	70.7	65.8	54.2	49.0	45.9	32.6	16.7	48.3	45.2	34.8	26.1	26.1	25.0
支持しない	22.2	16.8	27.8	40.3	46.8	51.5	62.8	58.3	24.1	39.5	48.4	59.7	66.7	65.0
わからない	18.5	12.6	6.3	5.6	4.1	2.6	4.7	25.0	27.6	15.3	16.8	14.2	7.2	10.0
サンプルサイズ	27	191	316	395	314	196	43	12	87	124	155	134	69	20

10月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	62.5	67.4	61.4	50.2	48.0	47.6	38.5	53.3	41.1	45.1	34.5	38.4	26.3	50.0
支持しない	29.2	25.7	29.2	40.9	46.9	48.8	61.5	33.3	41.1	40.7	48.7	51.5	63.2	50.0
わからない	8.3	6.9	9.5	8.9	5.1	3.5	0.0	13.3	17.8	14.2	16.8	10.1	10.5	0.0
サンプルサイズ	24	144	264	325	256	170	39	15	73	113	113	99	57	10

11月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	66.7	73.9	61.4	57.9	54.8	43.3	46.5	42.9	50.0	34.0	29.8	38.3	32.0	33.3
支持しない	30.3	16.4	30.1	35.6	41.5	51.2	51.2	28.6	27.8	44.3	52.6	50.0	54.0	66.7
わからない	3.0	9.7	8.5	6.5	3.6	5.5	2.3	28.6	22.2	21.7	17.5	11.7	14.0	0.0
サンプルサイズ	33	134	236	340	248	164	43	14	54	106	114	94	50	9

12月	男性							女性						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
支持する	57.9	69.7	57.1	55.9	49.2	42.7	42.6	25.0	48.6	37.8	32.6	36.5	36.1	53.3
支持しない	23.7	23.2	32.0	39.1	46.4	48.2	53.7	62.5	33.3	47.7	53.5	50.0	59.0	46.7
わからない	18.4	7.0	10.9	5.0	4.4	9.1	3.7	12.5	18.1	14.4	14.0	13.5	4.9	0.0
サンプルサイズ	38	185	294	379	295	164	54	8	72	111	129	96	61	15

※サンプルサイズを除き、数字は全て%

※0.05%未満は0.0と表記